



## 子供らの素読の声が風となる閑谷学校楷の木高し

熊本県 小川 道子

《選評》庶民の学校として建てられた閑谷学校。その講堂で素読をするのは近在の生徒達か。庭に立つ楷の木は一点一画を正確に書く楷書の因むという。歴史を通して素直に育っていく子らに期待したくなる歌。

この歌は令和元年5月16日に行われた「NHK 学園生涯学習フェスティバル・鎌倉短歌大会」で、特選に輝いた熊本県在住の小川道子さんの作品です。これが掲載されているコピーを「特別史跡旧閑谷学校 竹内良雄」宛に届けてくださったのは、昭和20年閑谷中学校ご卒業の中山茂樹さんでした。竹内は7年前に閑谷学校を退いていますが、かつて和気閑谷高等学校の創学325年記念事業を展開する中で、中山さんは大変お力添えくださり、親しく交流もさせていただいた一人でした。

中山さんは小川さんとは以前からのお知り合い

のようで、旧制閑谷中学校の卒業生であることも先刻ご承知とのこと。特選を得られたこともお慶びだったでしょうが、標記の短歌大会で閑谷学校の素読の風景が詠われたことに、中山さんは特別に深い感動を覚えられたのでしょうか。

同窓会事務局の高原先生にこのことをお伝えし、会報紙上に紹介してはどうだろうかと相談申し上げたところ、喜んで了解してくださいました。みなさんと一緒に素読の風景を思い起こしてみましよう。今秋は楷の木の紅黄葉もいよいよいです。

(S34卒 竹内 良雄)



### 本の紹介

## 『北川先生の作文教室』

(著者 北川久美子 S45普通科卒  
現 和気閑谷高校非常勤講師)

作文がちょっと苦手なそのあなたのために本著はあります。

対象としては、小学校1年生から3年生の保護者が主な読者として想定されています。そのため分かりやすく丁寧に書かれています。

また、それぞれの節で具体的な型（フォーマット）が示されています。

本著は、保護者のみならず作文指導を担当する教師にとっても役立つ本です。

内容は次の通りです。

はじめにー保護者の皆さんへ  
本著を使用するにあたって

作文の書き方の流れ

1. わたしの名前
  2. 自分の身の回り
  3. 好きな本・好きなことば・尊敬する人
  4. 将来の目標
  5. 夏休みの宿題800字
    - 1 生活文
    - 2 読書感想文
- 「すいこう」とは  
「すいこう」の流れ  
「清書」しましょう  
原稿用紙の使い方

おわりにー保護者の皆さんへ  
付録

1. 新聞投稿文例
2. 小学校1・2・3年生が習う440字の漢字表



※価格972円 購入のお問い合わせは、和気閑谷高校まで。